

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 30 年 6 月 29 日

嶮山小通信

7 月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

『子どもたち』のために

副校長 内田 宏平

2018 サッカーワールドカップロシア大会の決勝トーナメントが始まります。世界中で親しまれているサッカー。しかも、4年に一度の世界カップ。盛り上がりがないわけがありません。試合中継を見ると、各国のサポーターが全力で応援する様子が伝わってきて、テレビの前でも熱くなります。

それにしても、スポーツって面白いなあと思います。国や文化などの様々な壁を軽々と超えて、一緒にプレーし、心を通い合わせることができる力が、スポーツには秘められています。サッカーワールドカップでも、試合後のサポーターや選手たちが健闘をたたえ合い、心を通い合わせる様子がたくさん見られます。『スポーツ』というツールを生かして、人と人とが関わり合うことができているのです。言い換えると、“スポーツ＝(人類の) 共通言語” だといえるかもしれません。

同じように考えてみると、“共通言語” となり得るものは、スポーツ以外にもありそうです。最近、私が特にそう感じるのが、『子どもたち』です。

我々大人は、それぞれの家庭や様々な組織に所属しています。その家庭や組織にはいろいろな文化やルールなどがありますし、その中で生活を完結させることも可能です。ですが、『子どもたち』について考えていく過程で、様々な壁を乗り越えて団結し、心を通い合わせることができるのではないかと思うのです。

それぞれに生活基盤をもつ大人たちが、『子どもたち』を基点として様々な人たちと関わる・・・何だか、サッカーワールドカップの構図に似ていませんか？本来なら関わる事が無かった人たちとも『子どもたち』のことを考えて行動することで出会える。そこで心を通い合わせることができる。そんな力が『子どもたち』にはあると思うのです。実際に、学校では、『子どもたち』を基点として様々な人たちが交流する機会が生まれています。

嶮山小学校には、「フレンドくんの会」という教育サポートの組織があり、様々な活動で『子どもたち』のために！と支援してくださっています。5月に募集した「読み聞かせ」や「ブックハーモニー」や「花壇」のボランティアは、「フレンドくん」の会に属し、年間を通して活動していただいています。また、PTAが主体となって募っているボランティアに協力してくださっている方々もいます。登下校時に見守ってくださる方々がいます。パトロールをしてくださる方々もいます。子ども110番の家に登録してくださっている方々がいます。授業に協力してくださる方々がいます。イベントのお手伝いをしてくださる方々がいます。環境整備に協力してくださる方々がいます・・・

副校長として着任して三ヶ月。この嶮山小学校で『子どもたち』を共通言語として、関わり合いつながっていく。そんな素敵な場に立ち会って、時間を共有することができ、とても幸せだなあと感じる日々です。これからも『子どもたち』のために多くの皆さんとたくさんつながっていきたくと思っています。